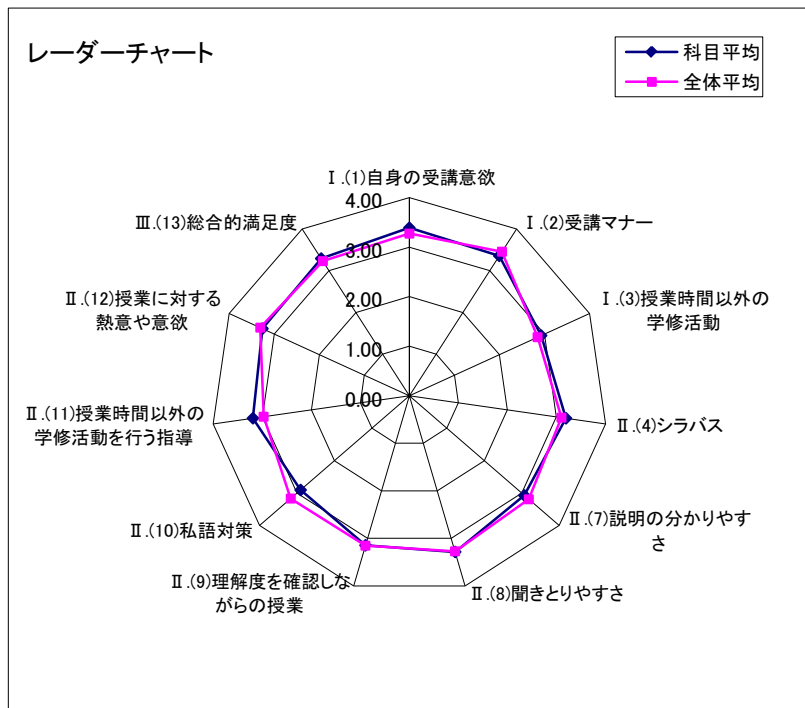
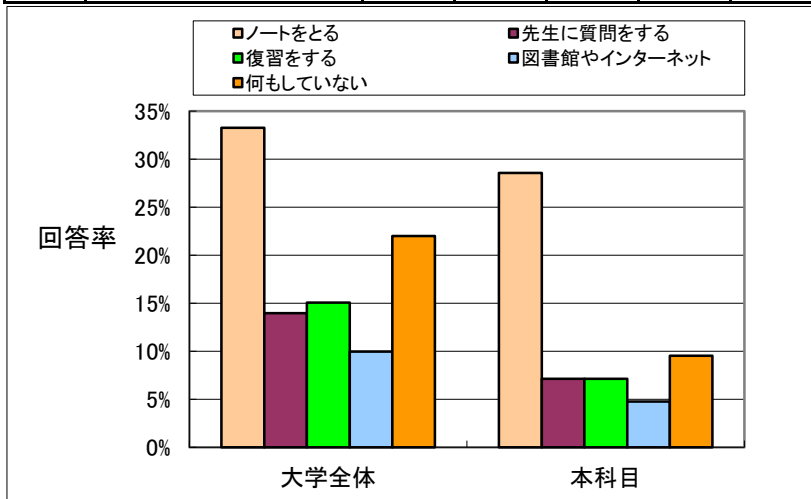


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.29	0.07	0.07	0.05	0.10



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.39	3.27
	I.(2)	3.36	3.46
	I.(3)	2.93	2.85
講義内容・方法	II.(4)	3.20	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.07	3.19
	II.(8)	3.29	3.27
	II.(9)	3.15	3.15
	II.(10)	2.90	3.17
	II.(11)	3.19	2.97
	II.(12)	3.26	3.31
	総合評価	III.(13)	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.22	3.19
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.15	3.17
II.(4)~(12)		
総合評価	3.29	3.23
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	2463
科目名	経営倫理学 I・経営倫理学
教員名	

①授業計画の達成度について

担当者は数年前から学生との対話を重視した授業を展開することを計画し実行してきた。具体的には、授業の終わりに本日の授業内容についての質問を書いてもらい次回の授業の冒頭にそれに対して回答し、当日の授業に繋げていく、という構成である。しかし毎年学生からの質問事項が少なくなってきた。担当者の説明が上手くないのか、学生の勉学意欲が低下してきたのか。多分両方に起因すると思うが、学生諸君も自分たちが授業をつくりだすという意識をより強く持って欲しい。

②授業の進め方について

アンケート結果を見ると、担当者の授業に対する評価は、私語対策を除いて、ほぼ平均点である。私語対策については、毎回、「私語厳禁。携帯プレーヤーの使用禁止」と黄色のチョークで板書して、徹底させている(つもりである)。上欄に記載したように、学生参加型の授業を目指しているために積極的に学生に話しかけ問いかける、という手法を使っている。従って、学生が多少ざわつくのは「必要悪」と考えてきたが、受講生の中からこのような声があがってきている以上、より徹底的にこまめに注意する。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

ここ数年続けてきた対話型の授業をより進めるつもりである。そのためには、担当者の方も受講生により分かりやすい授業を心がけて質問の仕方にも工夫を加えたいと考えているが、学生にも、授業の主人公は自分である、という意識「革命」を強く望みたい。高い授業料を払っているのであるから、元はキチンと取って欲しい。